

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 障害者等生活支援経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	2	障がい者（児）の自立促進
主要な施策	1	生活支援の充実
事務事業番号	034	事務事業コード 13321034 事業開始年度 昭和 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	障害者等生活支援経費
------	------	------------	------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>市内に居住する重度身障がい者在宅世帯、知的障がい者及び65歳以上寝たきり老人世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより福祉の増進を図ることを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度の基準日の9月1日までの助成資格認定者に、家庭系ごみ袋1年分（可燃ごみ袋30を20袋）及びし尿処理手数料券（し尿汲取り世帯のみ）1年分交付する。9月2日以降に助成資格認定登録者に対しては、その年度の残月数に応じ、月割計算した数量を交付している。 ・年1回市広報誌でお知らせしている。
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>対象となる世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより福祉の増進を図る。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>登別市家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料助成制度実施要綱</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	指定ごみ袋交付枚数	枚	目標値	16,000	16,000	15,800	15,800	
			実績値	14,019	/	/	/	/
	し尿処理無料券交付枚数	枚	目標値	120	100	100	100	
			実績値	126	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	54	1,021	975	975	975	2,925
合 計			54	1,021	975	975	975	2,925
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	433	409			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	33			
		合 計		433	442			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 民間等で類似した事業が無く、また民間で行う可能性も少ないため、行政主体で進める事業であるため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 新規申請者が多いが、助成世帯数は横ばい状態である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 対象者が重度心身障がい者、知的障がい者及び65歳以上寝たきり老人世帯であることから、弱者世帯への周知等を継続して行う。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最小限の経費で実施しているため、これ以上の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	対象者が重度心身障がい者、知的障がい者及び65歳以上寝たきり老人世帯であることから、助成のたびに感謝の電話も受けており、その対象者及び世帯の経済的支援として必要な事業と考えている。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）